

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2007年10月1日

49号

第七回国際協力青年奉仕隊、 パンタナール地域オリンポ市で ニームの植樹活動



現地の学生に植樹の仕方を教える

オリンポ市の中心通り500mの両側に植樹

ボランティア隊 隊長 三石昭治記
ボランティアという言葉の語源に「神のみこころ」「神の御旨」という意味があることをいつも意識させられる南米、パンタナールでの七回目を数える青ボ隊の活動であった。今回の特徴は今までの学校建設とは異なり、植樹活動を中心に、日本からの青年、学生とグランパンタナールの入り口といわれるオリンポ市の中学生、高校生との共同作業だったことである。

特記すべきは若い市長や、校長、市の観光課長まで積極的に参加してくれての期間であった。

今までのようなインディヘナ村落での学校建設の為の協力作業にしても、今回のような植樹作業の場合でも一緒に活動する中で、触れ合いを持った。現地の人々との関係がいつも強く印象に残る。

過去のボランティア活動ではインディヒナの村のあどけない子供達が貧しいなかでも助け合いながら、明るく生活している姿から、可愛かったとか元気をもらったという感謝につながる気持ちを、今回は、同じ多感な時期を過ごしているほぼ同世代の青年たちで、言葉や習慣の違いの壁を越えて、自然に同世代感を共有した。



三石氏，市長、柴沼氏

むしろ慣れない言語や作業を通じての交流が新鮮で感動的であったようだ。言葉の壁はいつもの事であるが思っていたほど苦にならず乗り越えられてしまう。スムーズでなくとも英語で会話できる高校生の何人かと、日本人の学生達はコミュニケーションにおいて意気投合がはやかかった。話題もまず異性の友人や恋人がいるかどうかに始まり、趣味のこと、将来の希望などについて話題が広がっていった。インターネット時代の若者達でもあるゆ

えに短期間で結ばれた友愛の情も継続して行きやすいことだろう。Eメールのアドレスを教えあつた学生もいた。学生達は航空機やバス、ボートによる長時間の移動で、地球の広さと狭さというあい矛盾するような気持ちと同時に持つたようだ。地球の裏側に位置する異国の生活の多様性や格差と共通性への驚きと感動が、短期間であっても彼らの顔つきや顔色まで生き生きと別人のように変えてゆくのを引率者として嬉しく楽しい。とにかく日本からは遠距離のパンタール地域、パラグアイ国内でありながら、首都圏から遠く離れ、道路などインフラ整備の極めて遅れた場所故に、雨など降ったときは陸の孤島に閉じ込められてしまうような状況も発生する。

今回も予想以上の降雨に心配もあつたが、かろうじて主催者である南北米福地開発協会の迅速な対応、協力で克服する事が出来た。一緒に活動した中学生、高校生やインディオ村の子供達にもプレゼントとしてあげる事の出来た文房具など提供してくれた会社、企業、更には切手集めなどで資金面の援助をしてくれた、以前青ボ隊に参加した個人や日本の青年グループ他、今回も背後で支えてくださった多くの人々の善意があつた。このようにして7回目を無事成功裏に終了する事が出来た。

神のボランタが種となり、多くの人々に花を咲かせ、実を实らせてくれるボランティア活動として今後も継続される事を期待し、善意を持つて協力してくれた全ての人々に感謝しつつ総括とさせていただきます。



現地の学生と共に植樹をする舟橋君



市長自ら植樹の為の腐葉土を運ぶ



植樹した木の前で笑顔の山口さん



植樹後、学生達と交流する下條君

植樹期間を終えて、お別れ会



市長が感謝の乾杯



130名余りの学生の前で日本の青年による歌の披露



民族の壁を超え、感動する石井君



言語の壁も辞書を片手に克服する深澤君

オリンポ市長からの感謝状

FUERTE OLIMPO, 25 DE AGOSTO DE 2007.

SEÑORES:

F. D. S. A. N. S.

FEDERACIÓN DE DESARROLLO SUSTENTABLE DE AMÉRICA DEL NORTE Y SUR.

E.....S.....D.....

DE MI MAYOR CONSIDERACION:

En mi calidad de Intendente Municipal de la Ciudad de Fuerte Olimpo, Departamento de Alto Paraguay, tengo el especial agrado de dirigirme a esa Federación a los efectos de hacerles llegar las mas fervientes y efusivas gratitud de agradecimientos por tan loable gesto de hermandad y aprecio demostrado a favor de Fuerte Olimpo, en el sentido de Ejecutar el Proyecto de Arborizacion y el intercambio cultural entre Estudiantes Japoneses Fueron los Ejecutores del Proyecto de Arborizacion.

El reiterarles mis agradecimientos aprovecho la ocasion para saludarles con la deferencia de siempre.



南北米福地開発協会殿

謹啓

フェルト オリンポ市の市長として、又、全てのチャコ地方住民の代表として、特にオリンポ市の青年達を代表して、皆様に対する特別の深甚なる謝意を表す次第です。今回、学生達が皆様から頂いた様々な貴重な贈り物が彼らの学業の役に立つことは疑う余地がありません。

お礼の言葉を申し上げつつ、この度、南北米福地開発協会と我が市庁が協力して遂行できたオリンポ市での植樹活動が多大な勝利と成功を納めることによって、パラグアイ（オリンポ）と日本の両国青年達にとって忘れられない思い出として記録され、また、将来の為の良き経験となり、今後も引き続き、同様なプロジェクトが組まれることを期待するものです。最後に、皆様のご健勝を祈りつつ。

グランパンタールの入り口門に位置する州都
フェルトオリンポにて
ソニア ソーサ 秘書
ディエゴ ガジャゲール 市長

オリンポとエスプランサのインディヒナの村に文具を贈呈する



第七回ボランティア隊活動を報道



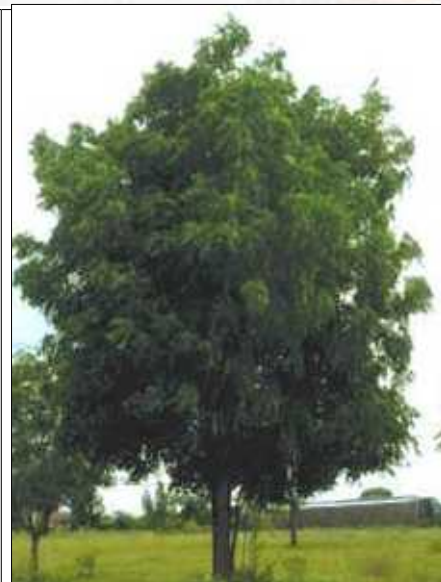
ABC新聞ニュース

『高層ビルの東京から我らのパンタナルチャコ地方へ』

日本人の大学生、青年たちがアルトパラグアイ州のパンタナル地方において環境保全のためと現地のインディヒナ社会やその周辺の社会発展のためのプロジェクトに参加した

若者達の体験『石井竹馬君は通訳を通じて、他の仲間と同じく最も印象に残ったことは今回の活動の中心となったオリンポの人々との親切さでしたと述べた。彼らはとてもたやすく交流できました。でも日本で人々はとても消極的、閉鎖的です。私達は皆さんから学んでもっと社交的に成るべきだと思います。』石井君は東京で経済を学んでおり、アルトパラグアイの州都オリンポの人々と一緒に緑の再生のため、今回、植えたばかりの木の生長ぶりを見る為に来年又来たいと語った。情報学を学ぶ坂本君の言葉は我々をちょっと驚かせた。言葉の壁があっても一緒に作業する事により、全てがスムーズに容易になり、困難もなくなりました。この経験の価値はとても尊いものです。』と評価していました。東京農大で農業を学ぶ山口カキエさんは『何かパラグアイの社会で役に立ちたいと思ってきたのに結局、今回の体験で逆に私自身が恩恵を受ける立場になってしまった』と述べた。(記事の一部を翻訳)

多くの会員の皆様はじめ、団体の方からのあたたかい支援により、無事、ボランティア隊の活動が成果を収める事が出来ました。心から感謝しております。右のニームの成木のようにオリンポでのニームも育ち、それと共に国を超え青年たちの心の絆が育ち、強くなるように祈りつつ。



南北米福地開発協会 事務局

〒二二二一〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一番十五

岩崎ビル四F

電話 〇四四一八二九一二八二一

Fax 八二九一二八二〇

会費納入 郵便口座

一〇一八 〇七七六八〇四七一

代表 柴沼邦彦

E-MAIL office@asd-nsa.jp

ホームページ

http://www.asd-nsa.jp